

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社SEED

コード番号 1739 URL <http://www.seed-kvoto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡橋 成泰

問合せ先責任者 (役職名) 管理部 グループ長

(氏名) 七海 不二男

TEL 075-595-1311

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,743	63.9	△100	—	△118	—	△74	—
23年3月期第2四半期	1,673	—	△115	—	△137	—	△183	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △74百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △183百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△6,543.94	—
23年3月期第2四半期	△16,118.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	3,087	670	21.7	58,898.70
23年3月期	3,961	744	18.8	65,442.65

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 670百万円 23年3月期 837百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	54.4	170	—	130	—	100	—	8,787.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	12,300 株	23年3月期	12,300 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	920 株	23年3月期	920 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	11,380 株	23年3月期2Q	11,380 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想の利用にあたっての注意事項については、2ページ「1. 経営成績(1) 経営成績の分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況が続いておりますが、資材流通の復旧により、一部には回復の兆しが見えました。しかし、円高進行や株価下落により市場が低迷しており、先行きが不透明で厳しい経済状況が続いております。

建設業界におきましては、住宅エコポイントや住宅ローン減税などの政策支援、相続税の増税への動きなどを背景にした土地所有者の相続税対策としての土地活用ニーズの高まりなどが見られるものの、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループにおきましては、平成23年4月1日付で新たな組織体制を敷き、「必ず黒字にする！」をスローガンに業績の回復に努めた結果、引き合いが増加し、受注件数も増加しております。しかし、前連結会計年度下半期の受注件数が減少した影響や、京都市内及び滋賀県内の貸家新設着工件数が前年同期に比べて下回っており、賃貸マンション1棟当たりの規模も縮小傾向にあることから、狭い市場において価格競争が激化しております。更に、東日本大震災の発生により資材価格高騰の影響も受けました。

このような状況のもとで、業績につきましては売上高は2,743,722千円（前年同四半期は1,673,702千円）、利益面については営業損失100,940千円（前年同四半期は115,290千円）、経常損失118,364千円（前年同四半期は137,054千円）、四半期純損失74,470千円（前年同四半期は183,433千円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資 産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて43.6%減少し、1,070,016千円となりました。これは、繰延税金資産が27,522千円増加しましたが、販売用不動産が734,806千円、仕掛販売用不動産が156,162千円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.2%減少し、2,017,416千円となりました。これは、有形固定資産が53,927千円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて22.0%減少し、3,087,432千円となりました。

(負 債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて18.3%減少し、1,236,960千円となりました。これは、短期借入金が150,000千円、1年以内償還予定社債が60,000千円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて30.6%減少し、1,180,205千円となりました。これは、社債が325,000千円、長期借入金が128,585千円、預り保証金が66,984千円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて24.8%減少し、2,417,165千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて9.9%減少し、670,267千円となりました。これは、利益剰余金が74,470千円減少したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今年度通期の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益の連結業績予想については平成23年5月13日に公表しました通りであります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	587,673	498,786
受取手形・完成工事未収入金等	281,909	366,921
販売用不動産	784,806	50,000
未成工事支出金	15,403	63,857
仕掛販売用不動産	175,284	19,121
繰延税金資産	7,091	34,613
その他	48,088	38,931
貸倒引当金	△1,739	△2,216
流動資産合計	1,898,517	1,070,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,508,166	1,455,508
その他(純額)	7,199	5,930
土地	333,355	333,355
有形固定資産合計	1,848,721	1,794,793
無形固定資産	5,315	13,641
投資その他の資産		
その他	217,012	218,512
貸倒引当金	△8,032	△9,532
投資その他の資産合計	208,980	208,980
固定資産合計	2,063,017	2,017,416
資産合計	3,961,535	3,087,432
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	283,613	280,643
短期借入金	500,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	234,117	221,700
1年内償還予定の社債	310,000	250,000
未払法人税等	2,734	1,188
賞与引当金	—	12,528
工事損失引当金	28,973	14,027
その他	155,400	106,872
流動負債合計	1,514,838	1,236,960

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
固定負債		
社債	450,000	125,000
長期借入金	577,085	448,500
退職給付引当金	26,623	29,261
預り保証金	472,989	406,005
資産除去債務	99,363	100,364
その他	75,897	71,074
固定負債合計	1,701,959	1,180,205
負債合計	3,216,797	2,417,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	260,782	260,782
資本剰余金	226,282	226,282
利益剰余金	292,633	218,163
自己株式	△34,960	△34,960
株主資本合計	744,737	670,267
純資産合計	744,737	670,267
負債純資産合計	3,961,535	3,087,432

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,673,702	2,743,722
売上原価	1,512,447	2,591,051
売上総利益	161,254	152,671
販売費及び一般管理費	276,545	253,612
営業損失(△)	△115,290	△100,940
営業外収益		
受取利息	175	124
受取手数料	769	826
受取保険金	325	151
その他	627	1,205
営業外収益合計	1,897	2,308
営業外費用		
支払利息	19,577	15,301
その他	4,084	4,430
営業外費用合計	23,661	19,731
経常損失(△)	△137,054	△118,364
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,671	—
固定資産除却損	3,452	—
その他	281	—
特別損失合計	25,406	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△162,461	△118,364
法人税、住民税及び事業税	714	714
法人税等還付税額	—	△14,648
法人税等調整額	20,258	△29,959
法人税等合計	20,972	△43,894
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△183,433	△74,470
少数株主利益	—	—
四半期純損失(△)	△183,433	△74,470

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△183,433	△74,470
四半期包括利益	△183,433	△74,470
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△183,433	△74,470
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△162,461	△118,364
減価償却費	70,497	57,068
貸倒引当金の増減額(△は減少)	559	1,977
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,277	12,528
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,071	2,637
工事損失引当金の増減額(△は減少)	14,155	△14,945
受取利息及び受取配当金	△175	△124
支払利息	19,577	13,169
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,671	—
固定資産除却損	3,452	—
売上債権の増減額(△は増加)	△94,289	△85,012
たな卸資産の増減額(△は増加)	81,551	842,514
差入保証金の増減額(△は増加)	△1,272	4,817
仕入債務の増減額(△は減少)	△93,466	△2,969
未払消費税等の増減額(△は減少)	△15,433	6,944
未成工事受入金の増減額(△は減少)	74,799	△32,433
預り保証金の増減額(△は減少)	△9,055	△68,728
その他	△20,355	△21,171
小計	△118,592	597,905
利息及び配当金の受取額	155	82
利息の支払額	△17,407	△8,727
法人税等の還付額	—	14,648
法人税等の支払額	△50,377	△1,155
営業活動によるキャッシュ・フロー	△186,222	602,753
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,978	△4,867
定期預金の払戻による収入	5,000	—
有形固定資産の取得による支出	△17,239	△1,350
無形固定資産の取得による支出	△746	△9,420
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,964	△15,637
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	△150,000
長期借入金の返済による支出	△204,752	△141,002
社債の償還による支出	△55,000	△385,000
配当金の支払額	△16	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△259,768	△676,010
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△462,954	△88,893
現金及び現金同等物の期首残高	891,754	518,775
現金及び現金同等物の四半期末残高	428,799	429,881

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	建設事業	不動産事業	不動産賃貸事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,354,075	953,962	435,685	2,743,722	2,743,722
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,354,075	953,962	435,685	2,743,722	2,743,722
セグメント利益又は損失(△)	△35,264	16,907	38,785	20,428	20,428

(注) 1 その他事業につきましては、運営しておりました飲食業を平成22年8月をもって閉店している為、当第1四半期より該当事項はありません。

2 セグメント別資産の著しい金額の変動

第1四半期連結会計期間において、収益物件として事業に供していた販売用不動産の売却を行っており、不動産賃貸事業における資産の金額が前連結会計年度末に比べて734,806千円減少しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	20,428
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△121,369
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△100,940

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。